

第4回 全国ユース環境活動発表大会 全国大会

<概要>

- 日程** 平成31年2月9日(土)、10日(日)
- 会場** 国連大学 ウ・タント国際会議場
- 主催** 全国ユース環境活動発表大会 実行委員会
(環境省・独立行政法人環境再生保全機構・国連大学サステイナビリティ高等研究所)
- 後援** 読売新聞東京本社
- 協力** 環境省地方環境パートナーシップオフィス(EPO)/地球環境パートナーシッププラザ(GEOC)
ESD活動支援センター
- 協賛** キリン株式会社 / 協栄産業株式会社 / SGホールディングス株式会社 / 三井住友海上火災保険株式会社

KIRIN

KYOEI

SGH

MS&AD
三井住友海上

受賞校のみなさん、おめでとうございます!

今年度は、全国8会場で「地方大会」を実施。各地方で選考された16高校が出場しました。代表校の発表はいずれもすばらしく、審査を経て環境大臣賞をはじめ出場高校すべてに賞が授与されました。

環境大臣賞

長崎県立五島高等学校

五島環境部

島から世界を巻き込め! 海から生み出すお宝大作戦!

「五島の海が綺麗な海ではなくなってきている。」潮の流れに乗って、五島の海岸には多種類のごみが多く漂着している。そこで、学生団体を立ち上げ、五島一周調査を実施。7時間かけて海岸線を一周すると、ほぼ全域に海ゴミの漂着ゴミが見られた。また、学校外の多くの人に海ゴミの存在を知ってもらうために海ゴミでアートを作った。人を巻き込むことが持続可能な活動をする上で一番重要なポイントだと考え、今後も活動に取り組んでいく。



環境再生保全機構 理事長賞

岐阜県立恵那農業高等学校

花咲かみつばち倶楽部

花咲かみつばちプロジェクト ~みつばちとともに里山の調査・保全・活用~

里山の植物にとって必要不可欠なミツバチを守りたいという思いから活動を開始。Honey Prodece活動では、耕作放棄地を再生し農地収穫物の蜜源植物(レンゲ、エゴマ)を増殖。また、販路創出に向けて、蜂蜜、エゴマ油、エゴマ味噌、蜂蜜天然酵母のエゴマ食パンの商品を開発。すべての収穫物の販路を創出することができた。売り上げの一部を使いレンゲの種を購入し、地域でエゴマ栽培に取り組む農家さんへ訪花昆虫のために蜜源増殖への協力を呼び掛けた。



国連大学サステイナビリティ高等研究所 所長賞

東筑紫学園高等学校

広谷湿原保全プロジェクト

平尾台&広谷湿原 水の起源を探る+高校生が国際条約に挑戦!

日本で唯一、カルスト台地に存在する貴重な湿原、広谷湿原の成因、増減、再生の全3点から考察し、ラムサール条約登録に向けて活動している。「人間がずらしてしまった湿原の時間軸を元に戻すのは、人間の責務である」と考え、福岡県と地元のお田町に「里山的手法」をもとに再生の提言を行い、作業している。土壌硬度による湿原境界の数値化、安定同位体による水の分析を研究し、陳情や発表を進める。3年後の2021年の締約国会議を目指している。

